熊本記念〔GⅢ〕主力の横顔

吉澤　純平

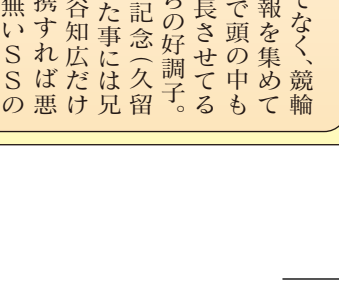
２年前の松山ナイターの落車で頭蓋骨々折れぬ活躍。まだ落車の傷も癒えぬまま迎えた地の生死を彷徨う大怪我元取手記念は初日からで再起を危ぶまれた「吉信じられぬパワーを発澤純平」。丈夫な体に生揮して、師匠の武田豊んでくれた両親に感謝樹・先輩芦澤大輔・後輩で、四ヶ月で実戦に復帰吉田拓矢の助けがあって、怪我する前よりパたとは言え、圧倒的なワーアップしたのに一番強さで地元記念優勝。驚いたのは師匠の武田それなのに、さあこれか豊樹。今年は更に悲惨らの時に迎えた岸和田で、２月末に連続して落高松宮記念杯で又して車したのに、ウィナーズも落車の憂目。ここで上カップは何と２日連続半身の骨盤と言われての落車で帰郷。一ヶ月休る肩胛骨々折の不運。即んで復帰するや、信じらぐに治ると嵩を括っていたら意外に長引き、再起戦に成った平オールスターは危険極まる運行で１次予選は突破したものの、最終日に又しても落車。雨が降ってた事で幸い軽くて済んだので、勇んで小田原記念に参加したのに、初日特選はオールスターＶでＳ級Ｓ班の渡邉一成の逃げを物の見事に捲り切り、１着で復活を告げたのに、無情にも審議成り、信じられぬ失格。その理由は青板バックで誘導が残っていた事で、ついイエローラインを５秒オーバーしたからの事。ルールで青板過ぎた誘導が居ても失格の決まりがあるのを失念したミスだけど、不運な出来事。今回は師匠のために逃げまくる。

松岡　貴久

熊本輪界の顔として、追い、会心の番手捲りを特別・記念・ＦＩで活躍決めての記念初Ｖ。これしている度胸満点の「松で吹っ切れ、今年は更な岡貴久」。昨年の地元記る飛翔が期待されたの念は呼ばれず、中川誠一に何故か低空飛行。それ郎の優勝をテレビで観でも随所では真価発揮戦し、感激してから早やり、その惨状を目の辺り1年。熊本競輪の再開を班上位を堅持している誰よりも望み、そのためのは実力の証明だけど、なら如何なる協力も惜例年以上に落車が多しまない若きリーダー。く、それで波に乗れず、昨年末の伊東で、これ迄参加した特別（ＧⅠ・Ｇ何度挑戦しても跳ね返Ⅱ）・記念（ＧⅢ）でパされて来たのに、深谷知ンクの前橋寛仁親王牌広の逃げを先き捲りし頃はセンス抜群の運行た後閑信一を判断良くに痛烈捲りでＦＩだけど1着を量産していたのに、今年は苦闘の毎日。その際たるものが８月高松ＦＩの❾⑨欠。これ以上悪く成る事は無いので、吹っ切るために家庭サービスをやる事でリフレッシュ。二ヶ月終えて今期はこれ迄経験した事がない低得点９２・３。このままでは長年守って来た1班も危うく成るで、街道練習で徹底して仕上げ、壊れた状態の熊本バンクに入り、その惨状を目の辺り口を揃えて「一番練習すするのは大槻さんです」と認めていたし、それを本人に確かめても否定せず「仕事ですから」とサラリ、努力は報われぬ筈は無く、ここ一番の勝負強さで特別・記念でも玄人ファンを喜ばせてい たので注目してたが、こ

合志　正臣

今牛若丸の仇名の通り、俊敏な動きと痛烈差でＧⅠ（全日本選抜）ど、周りも皆一緒であれば、やり方次第ではもう一華咲かせる事は出来の体に４回転を越える大ギヤブームは厳し過ぎて、それでも懸命に努力して、それなりの成績を残したが、無理を重ねた代償は高く付き、それが膝の故障に腰痛。絶対に今一度グランプリに出るをスローガンに頑張ろうとしてた矢先に挙げる迄に。その最たるギヤ制限の朗報。それでも３・９２は過酷だけＧⅡ（共同杯）を獲り、ばグランプリにも２度出場してる「合志正臣」。これで脚力以上に自信が甦ったのは大きく、走りたくて堪らなかった地元熊本記念に呼ばれた事を心の底から喜んだとの事。場所は記念２度Ｖがある熊本の滑走路バンクから久留米の４００バンクに替わっても気持は熊本バンク。ならば「獲る」と決めて、仕上げて来るのは必定で、何時もと違い、中川誠一郎を筆頭に山田英明・松岡貴久・松川高大と目標に事欠かないのも張り切る要因。最低でも決勝進出。レースが全日本選抜を獲った思い出の平バンクで開催されたオールスターで、勝手知ったるバンクを縦横無尽にらしさを発揮する大活躍。これで脚力以上に自信が甦ったのは大きく、走りたくて堪らなかった地元熊本記念に呼ばれた事を心の底から喜んだとの事。場所は記念２度Ｖがある熊本の滑走路バンクから久留米の４００バンクに替わっても気持は熊本バンク。ならば「獲る」と決めて、仕上げて来るのは必定で、何時もと違い、中川誠一郎を筆頭に山田英明・松岡貴久・松川高大と目標に事欠かないのも張り切る要因。最低でも決勝進出。


大槻　寛徳

地味で目立たないマーカーのイメージしかなかった「大槻寛徳」。派手な活躍歴こそ皆無に等しいレーサーは、早くから宮城の後輩たちが認めてる仲間なら、平気に３番手を固める姿勢が功を奏し始めた矢先は無く、ここ一番の勝負強さで特別・記念でも玄人ファンを喜ばせてい たので注目してたが、こ迄来るためにはマーカーとして誰よりもラインの自力型を大事にし、点数に関係なく満々に「自力です」とコメントして有言実行は、狂い咲きと言うよりこれこそ努力の結実。そのの実力の証明だけど、例年以上に落車が多く、それで波に乗れず、昨年末の伊東で、これ迄参加した特別（ＧⅠ・Ｇ何度挑戦しても跳ね返Ⅱ）・記念（ＧⅢ）でパンクの前橋寛仁親王牌広の逃げを先き捲りし頃はセンス抜群の運行た後閑信一を判断良くに痛烈捲りでＦＩだけど1着を量産していたのに、今年は苦闘の毎日。その際たるものが８月高松ＦＩの❾⑨欠。これ以上悪く成る事は無いので、吹っ切るために家庭サービスをやる事でリフレッシュ。二ヶ月終えて今期はこれ迄経験した事がない低得点９２・３。このままでは長年守って来た1班も危うく成るで、街道練習で徹底して仕上げ、壊れた状態の熊本バンクに入り、その惨状を目の辺り口を揃えて「一番練習すするのは大槻さんです」と認めていたし、それを本人に確かめても否定せず「仕事ですから」とサラリ、努力は報われぬ筈は無く、ここ一番の勝負強さで特別・記念でも玄人ファンを喜ばせてい たので注目してたが、こ迄来るためにはマーカーとして誰よりもラインの自力型を大事にし、点数に関係なく満々に「自力です」とコメントして有言実行は、狂い咲きと言うよりこれこそ努力の結実。そのの実力の証明だけど、例年以上に落車が多く、それで波に乗れず、昨年末の伊東で、これ迄参加した特別（ＧⅠ・Ｇ何度挑戦しても跳ね返Ⅱ）・記念（ＧⅢ）でパンクの前橋寛仁親王牌広の逃げを先き捲りし頃はセンス抜群の運行た後閑信一を判断良くに痛烈捲りでＦＩだけくて１分６秒台で初優勝かなと内心期待したら、後輩早坂秀悟に僅かに抜かれて準Ｖに甘んじたが、これで前橋寛仁親王牌は特選シード。それだけでなく本業の方でもこれ迄とは違い、目標不在で単騎の時は主導権を取る自力型に直付け宣言をして競るかと思えば、ラインの誰かに任された時は自信満々に「自力です」とコメントして有言実行は、狂い咲きと言うよりこれこそ努力の結実。そのの実力の証明だけど、例年以上に落車が多く、それで波に乗れず、昨年末の伊東で、これ迄参加した特別（ＧⅠ・Ｇ何度挑戦しても跳ね返Ⅱ）・記念（ＧⅢ）でパンクの前橋寛仁親王牌広の逃げを先き捲りし頃はセンス抜群の運行た後閑信一を判断良くに痛烈捲りでＦＩだけ

松谷　秀幸

大阪のリトルリーグ励ましてくれたのは糟での活躍で、野球の名門糠の妻。白球をペダルに沖縄興南高校に留学し替えて入門した先は鉄た火の玉投手は順調に人佐々木龍也氏、これが育ち、卒業時はプロのス良かったのか、鬼のしごカウト達が沖縄詣でをきに耐えられたのは１念する程注目された「松度挫折した貴重な経谷秀幸」少年、運命のクがあるからと、師匠の期ジはヤクルトスワロー待を裏切ってはいけなズと成り、将来の１億円いの責任感。今や南関東プレイヤーを夢見て上輪界に居なくてはいけ京したが、投手として致ない存在に成長。先行命傷である肩を痛め、何捲りの自力を主戦法に、度かメスを入れても完治する事無く解雇されて途方にくれてた時にのはこれ全て妻と３人の子供のためとか。野球をやってる長男は早くも１８０センチを越え、父が果たせなかった夢実現のために投手として頑張っているそうで、子供の話をする時の顔は、何処にでも居るやさしいパパだけど、いざレースに向かう時は一変するから不思議。あまりにも激しい運行をやる事で落車事故は絶えないが全く気にしてない し、今年は４月西武園記念の優勝で小倉競輪祭は晴れて特選スタート。今回は南関東の代表としてして狙うは勿論優勝だけど、先ずは勝ち上がる事が大事なので、初日から持ち味を発揮して全国の競輪ファンを魅了する。

近藤　龍徳

祖父・現役の父（幸徳オンの特典で特選に氏）の闘う姿に憧れて育った３代目は、体は小さいが素早さは天性の勝負師「近藤龍徳」、若いにしては誰よりも義理・人情を尊び、中部の先輩達にも可愛がられ、明るいキャラクターなので全国津々浦々の選手は皆友達。それでもレースしたものの好調を確信、今回は小松崎大地の番手は約束されてるのは有利。

上げるだけでなく、競輪に関する情報を集めて談義する事で頭の中も脚以上に成長させてるのが夏場からの好調子。今回の熊本記念（久留米）は恵まれた事には兄貴と慕う深谷知広だけでなく、連携すれば悪かった事が無いＳＳの浅井康太と一緒は正に両手に花状態。このメンバーに選ばれた事で記念初Ｖのチャンスと踏んで仕上げたとの事。それに最高に気が合う松川高大の存在も大きく、張り切る材料ばかり。小さいけど何をやっても絵に成る輪界屈指のエンターティナーは展開に先輩吉田敏洋や仲間数４日間狙って損がない上げ上げ選手。